



学校だより7月号

学校教育目標

自らがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)

未来へつなげ 笑顔の花をさかせよう
みんなで輝け 60周年

令和8年6月25日

横浜市立六つ川小学校

ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>



60周年 Ver.

目標を立てるということ

副校長 安齋 登美子

「自らがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子」

これは、六つ川小学校の学校教育目標（学校全体の目標）です。

本校も含め、どの学校でも、学校教育目標をもとに、各学年の目標をつくり、さらに学級ごとにクラス目標を掲げ、一年間を過ごします。目標を立てることは、4月の校長先生のお話、自分の「やりたい!」「やるぞう!」を見付けることにもつながります。校内を回ると、それぞれの学年で自分たちの「やりたい」「やるぞう」を決めて、日々の学校生活を送る子どもたちの姿が見られます。

4くみ『みんなで なかよく たのしい 4くみ』

1年生『きらぴか すまいる』 きら：ちゃれんじする「ぞう!」

ぴか：るうるやきまりをまもる「ぞう!」

すまいる：まわりのひとと、なかよくする「ぞう!」

2年生『つばさ はばたけ かがやけ せいちょう』 3年生に向かって大きく成長していきたい。

かがやけ：時間を守る、学校の約束を守る、協力できる、あいさつができる

3年生『たすけあい おチャや3(さん)』 お：お手本 チャ：チャレンジ や：やさしく

4年生『四つの花をさかせよう!ハピネスフラワートゥーン』

四つの花：「まずはやる」「当たり前のことをやる」「なんでも楽しむ」

「4年生としての自覚をもって行動にうつす」

5年生『Next Stage』 ~自らがやき 仲間と未来へ~

高学年としてさらに成長し、次のステージへ進む大切な学年として、一人一人がよさを伸ばし、仲間と協力し、支え合いながら、みんなでよりよい未来へ進んでいきたい。

6年生『Be a Shin-Leader』 MUTSUKAWA 恩送り(2026~27)

心一つに、進んで行く、信頼される、真実を求め、芯がぶれない、深める、新しいことへ挑戦(頭文字が全て「Shin=しん」に通じている。)

目標を立てることの「よき」や「ねらい」は、いくつかあります。特に学級や学年など集団の目標を決める場は、友達の思いや願いを知る場となります。学級や学年の目標を決めるまで、友達の思いや考えを聞き合う場面があると思います。自分と同じ考え、似ている考え、違う考えに出合います。自分の思いつかない様々な考えがあることを知り、自分とは違う考えにどのように向き合えばよいかを考える。集団の目標づくりは多様な考えや思いに目を向ける大切な機会と言えます。自分の願いや考えを大切に思うのと同じように、友達の願いや考えに耳を傾ける優しい心をもてる六つ川の子どもでもあってほしいと思うところです。

そして何より、立てた目標を「振り返る」ことが重要になります。

立てた目標を振り返ることは子どもが自身を見つめることでもあります。目標の姿に近付けた場合、達成感とともにできた自分たちに自信がもてます。努力してきたことが報われた喜びもあるでしょう。

また、振り返りのタイミングで目指す姿にたどり着けていなくても、目標に向かい努力した子どもたちは、目標を立てる前の子どもたちより何かが変化しているはず。さらに、子どもたちとともに努力したことややり方を分析し、新たな「やってみたい」「やってみるぞう」へ、つなげることもできるでしょう。高い所から広い視野で物事の全体を見つめることを「俯瞰する」と言います。振り返りは、自分たちを俯瞰することでもあります。子どもたちが自身の感情や行動を客観的に見つめ「自分たち、がんばったよね。」と、お互いのよさや頑張りを認め合えることができた時、学級や学年の友達と過ごしてきた日々はよい思い出として子どもたちの中に残ることでしょう。

目標に向けて努力する子どもたちが、振り返りの時間を通して、自分のことを認められるそんな時間になるよう、私たち大人は丁寧に子どもたちを見とり、励まし、応援していきたいと思えます。